

農林水産省交付金事業  
平成19年度都市農村交流技術的支援事業

## 農林漁家民宿における子ども長期宿泊体験活動 受入対応の手引きパート4

- 農林漁家民宿等における安全対策の実践事例編 -



平成20年3月

財団法人都市農山漁村交流活性化機構

## 目 次

### ・農林漁家民宿における安全対策の実践事例

- 1 . 「WARERA 元気倶楽部 田舎生活体験の家（福島県鮫川村）」 . . . . . 3
- 2 . ペンション ル・カルフル（青森県弘前市） . . . . . 8
- 3 . かみの家（宮城県東松島市） . . . . . 14
- 4 . 自然食泊 愛里（岐阜県郡上市） . . . . . 21

## ・農林漁家民宿における安全対策の実践事例

### WARERA元気倶楽部 田舎生活体験の家（福島県鮫川村）

#### - 自然学校としての安全対策の取組 -

#### 1. 当宿の取組概要

当宿では宿泊業だけでなく、子どもの交流・体験活動に特化した“自然学校”としての事業を行っています。

当自然学校の代表を務める進士 徹氏は、東京出身ですが、1995年（平成7年）家族とともに鮫川村に移り住んで開業し、1999年（平成11年）には、その事業体の総称を「あぶくま自然大学」と命名しました。その後、広域の受入体制を整備し、2003年（平成15年）に、NPO法人「あぶくまエヌエスネット」を設立しました。

進士氏はかつて「むねの木学園」の教諭として活躍し、山村留学の手配も行っていたので、参加者や宿泊者への安全管理に対する意識は高く、具体的な対策を行っています。



画像：右上は「センターハウス」、右は「参加者との団欒」（右：進士 徹氏）

項目	概要
住所	福島県東白川郡鮫川村大字赤坂東野字葉貫 57
TEL	0247-48-2045
FAX	0247-48-2508
WEB ページ	<a href="http://www2.ocn.ne.jp/~abukuma/">http://www2.ocn.ne.jp/~abukuma/</a>
開業年	1995年（平成7年）
宿泊料金 （大人1名）	素泊まり：2,500円～、 1泊朝食：3,300円～、 1泊2食：5,500円～
雇用者数	繁忙期：常勤3名、非常勤3名、ボランティア20名 平常期：常勤2名、非常勤2名

## 2. 当宿における施設・食事等に関する安全対策

### (1) 当宿における宿泊施設等の概要

当宿は3つの施設を所有しています。それぞれに施設に特色と機能があり、企画内容や参加者の要望等に応じて使い分けしています。その収容可能な人数は25名です。

宿泊スタイル	民宿風、ペンション風
建築スタイル	農家風ロッジ（和風建築・1棟） ：農家の家屋を改装した施設。宿泊機能を有する。
	センターハウス（和風建築（現代風）・1棟） ：受入業務の拠点施設。
	ゲストハウス（洋風建築（現代風）・1棟） ：現代風の家屋でその施設自体を貸し出す。
収容人数	定員25名（1部屋当たりの平均定員4名）
客室数	農家風ロッジ：2室、ゲストハウス：洋間2室、和室1室
客室設備	農家風ロッジ：囲炉裏、2段ベット等 ゲストハウス：専用トイレ、専用風呂、専用洗面所等

### (2) 施設・設備に関する安全対策の概要

当宿では、メンテナンス、医療機関、損害保険に関する対策を行っています。

適切なメンテナンス	日頃から施設・設備に関するチェックと定期的なメンテナンスを行っています。
医療機関との連携	宿泊者が負傷や体調不良など、期間中の突発的な医療を要することも想定されるので、常に地域内にある医療機関と連携を図っています。
損害保険の加入	宿泊施設で起きた過失事故等に関する損害を補償する保険として、グリーン・ツーリズム総合補償制度で取り扱う「登録体験民宿賠償責任保険（種類：旅館賠償責任保険）」に加入しています。

グリーン・ツーリズム総合補償制度の主管は（財）都市農山漁村交流活性化機構、引受保険会社は東京海上日動火災保険（株）であります。

### (3) 飲食の提供に関する安全対策の概要

当宿では、衛生管理と損害保険に関する対策を行っています。

衛生管理	飲食店営業許可を受け、保健所の指導に基づく衛生管理を行っています。
損害保険の加入	食中毒に対する損害を補償する保険として、グリーン・ツーリズム総合補償制度「登録体験民宿賠償責任保険（種類：旅館賠償責任保険）」に加入しています。

### 3. 当宿における体験活動に関する安全対策

#### (1) 当宿で提供する「体験プログラム」の概要

当宿（自然学校）では、地域の資源を活用し、“子ども”を対象にした体験学習的なプログラムと“大人”が楽しめるプログラムと、対象者に合わせた体験プログラムを提供しています。

主な「体験プログラム」の提供概要

プログラム名	人員(1回)	料金	ｲﾝｽﾄﾗｸﾀｰ数	実施時期
ウィークエンドは親子の時間	20	1泊5,000円	5	毎月1回
石窯パンピザ体験工房	30	2,200円	2~6	毎月1回
	15	2,200円	2~6	随時
大人の山村留学	10	1,500円~	2~5	2泊~
春休み・夏休み・冬休み 子ども自遊学校	20~80	1泊5,500円	5~13	2~14泊
新鮮組ヘルシー女性教室	1~10	1泊13,800円	2~5	平日

#### (2) “参加者”に向けた安全対策の概要

当宿（自然学校）では、宿泊者・参加者に対して安全指導を行っています。ここに訪れる顧客は単なる宿泊目的ではなく、体験や学習を目的とした客層が多いことが特徴です。

##### 1) 事前案内資料における確認事項

参加者に、事前に配布する参加者向け案内資料「あぶくま自然大学ご利用ガイド」には、次に掲げた滞在中の注意事項などを記載し、安全への関心と準備を促しています。

<b>事前確認事項</b>	<p>参加者に安全に対する自覚と責任を促すために、次の ~ の確認事項を了承いただいた上で、参加の申し込みをお願いしています。</p> <p>機械など扱うので危険が伴います。主催者及び指導者は、安全の確保を全てに優先しますが、受講者も「自分の責任は自分でとる」という行動をしてください。</p> <p>あぶくま自然大学では、年間通じて補償する傷害保険に加入していますが、万が一、事故が起きた時には、当該保険の補償範囲内での報償になりますので、ご了承ください。</p> <p>受講中の発病や本人の不注意によって生じた事故については、主催者及び指導者は責任を負いません。</p> <p>心配な持病や治療中の傷病等有る場合は、参加を控えてください。</p>
<b>参加者の持ち物</b>	<p>参加者には、安全管理上、必要な持参品を案内しています。</p> <p>記載している主な持参品：期間中の着替え、作業できる服装、洗面用具、長靴・地下足袋、上下レインウェア、帽子、健康保険証の写し、筆記用具、水筒、常備薬、その他必要と思われるもの。</p>

2) 参加申込書と同意書の提出

企画によっては、参加前に「参加申込書・同意書」の記入を依頼し、提出してもらっています。18歳未満の参加者には保護者の同意書に捺印をお願いしています。

これにより、緊急連絡先の把握と体験内容に対する事前の了解を得ることができます。

コース名をご記入ください。 「 \_\_\_\_\_ 」

参加申込書

参加者氏名(ふりがな)		生年月日	年 齢	血 液 型	性 別
		年 月 日生	歳	型	男・女
連 絡 先	(ふりがな) 住 所	〒 _____			
	電 話 番 号	( _____ )			
	F A X	( _____ )			
	E-mail	_____			
緊 急 連 絡 先	氏 名	_____			
	(ふりがな) 住 所	〒 _____			
	電 話 番 号	( _____ )			
	F A X	( _____ )			
	携 帯	( _____ )			

同 意 書

あぶくま自然大学 御中

\_\_\_\_\_ は、あぶくま自然大学の運営する

「体験学校」に \_\_\_\_\_ を参加させることに同意いたします。

保 護 者 氏 名	参 加 者 と の 続 柄
_____	_____

### 3) 健康カード・質問票の提出

参加者に事前提出をお願いしている「健康カード・質問票」に、既往症やアレルギー、持病および持参の薬名と服用方法、平常体温や乗りもの酔いといった参加者の身体状況等を書き込んでいただいています。これにより、事前に参加者の健康面の配慮事項を把握でき、滞在中の安全・健康管理に活用されています。

#### 健康カード・質問票

この資料は指導上の参考にするもので、外部に公表されることはいっさいありません。ご記入をお願いします。

参加者 氏名	身長:		cm	体重 kg
	平常体温:		度	
日常起床時間	時 分	日常就寝時間	時 分	乗物酔い 無・有
最近1年間の身体状況(かかった病気など)				
・心臓病 ・胃腸病 ・下痢気味 ・肝臓病 ・高血圧 ・難聴 ・中耳炎結膜炎 ・アトピー性皮膚炎 ・湿疹 ・小児喘息 ・感冒 ・貧血病 ・ねんざ(部位 ) ・骨折(部位 ) ・けいれん発作 ・薬品アレルギー ・副作用を起こす薬 かかった時期( )				
アレルギーの有無	無 ・ 有 アレルギーの注意事項( )			
持病の有無	無 ・ 有 持病の注意事項( )			
持参の薬	無 ・ 有 薬の名前( ) 服用方法( )			
アレルギーなどで食べられない食物				
生活面・健康面で心配なこと、指導者に伝えておきたいこと等、ご記入ください。				
本人の趣味・特技				
習い事(どのようなことを週に何回程度)				
あぶくま自然大学に来てやりたいこと・興味のあることなど記入してください。				

## ペンション ル・カルフル (青森県弘前市)

農家レストランを兼業 / 広域の農泊受入活動の取りまとめ役

当宿は、食事を特色とする農家レストラン兼農林漁家民宿ですが、当宿の経営者である田村夫妻は、広域で学校教育旅行等の農泊受入の取りまとめに取り組むなど、地域の交流事業におけるリーダー的な存在です。



### 1. 当宿における安全対策

#### (1) 宿泊施設等の概要

宿泊スタイル	ペンション風
建築スタイル	洋風建築、欧州民家風、1棟、木造2階建て
開業年	1987年(昭和62年)
収容人数	定員20名(1部屋当たりの平均定員2~3名)
客室数	客室数12室(洋室6室、広間1室)
宿泊料金 (消費税込み価格)	大人1名・素泊まり: 4,500円~ 大人1名・1泊朝食付き: 5,500円~ 大人1名・1泊2食付き: 7,500円~
雇用者数	繁忙期: 常勤2名、非常勤1名 平常期: 常勤2名

(2) 地域ぐるみによる「学習旅行」の受入活動

「学習旅行」に関しては、当宿単独の受入ではなく、田村夫妻も賛画する「つがる里山体験塾」や弘前市及びその周辺の広域地域の農家が参画する交流受入ネットワークと連携し、リンゴの生産農家等に泊まれる「ファームスティ」企画を行っています。

田村えり子氏は、それらのネットワークの取りまとめ役として活躍しています。

主な「学習旅行」の受入活動の概要

プログラム名	人員 (1回)	料金 (税込)	イストラ ク-数	実施 時期	実施場所	受入 窓口
農家で暮らしと農作業 体験 (屋外活動)	1班6名 × 応相談	1,500円 ~ 応相談	1 ~ 2名	通年	ハッピーファ ーム津軽、きゅ うさんの畑	つがる 里山体験
里山自然散策体験 (屋外活動)	1班4名 × 5班	2,000円 ~	1 ~ 2名	通年	岩木山麓、当宿 の周辺	つがる 里山体験
里山クラフト教室 (屋内活動)	1班10名 × 5班	500円 ~ 3,000円	1 ~ 2名	通年	当宿、協力農 家、宿泊場所	つがる 里山体験
里山食のアトリエ塾 (屋内活動)	1班6名 × 3班	応相談	1 ~ 2名	通年	当宿、体験提供 の協力農家	つがる 里山体験

「ファームスティ」企画に係る交流受入ネットワークの名称

弘前アップルリングクラブ、  
ひらかわ・ツーリズムねっと、  
浪岡G・Tクラブ

里山ふれあい塾イン岩木  
NPO尾上蔵保存会

教育学校旅行  
の受け入れ  
(バーベキュー)



### (3) 地域ぐるみの取り組みにおける安全対策の要点

田村えり子氏は、農家での受け入れを想定し、安全対策の要点を取り入れた受入マニュアルの制作に参画しています。

#### 1) 受入前のオリエンテーションの開催

受入農家向けに、受入前のオリエンテーションを開催し、マニュアルを配布するとともに、損害保険の案内や救急対応を含めた安全対策について確認しています。

##### 〔主な説明事項〕

###### 体験プログラムについて

- ・各団体で体験プログラム（雨天時含む）を周知すること

###### 食事の提供について

- ・食中毒の予防のために、生ものは出さないこと
- ・参加者と共同で調理・食事・片づけを行うこと
- ・薬用石けんで手洗いを徹底すること
- ・調理用具の除菌を徹底すること
- ・調理保存は、食事サンプルラップに少量包み、冷凍保存で3日間までとすること

###### 事前対策について

- ・緊急避難場所、トイレ、浴室、荷物整理、就寝、起床時間、作業等を周知すること
- ・フィールドや使用道具などの事前確認と点検を行うこと
- ・気象情報や地域情報は収集すること
- ・緊急時等の連絡体制を確認しておくこと
- ・作業内容での注意点はしっかり伝達すること
- ・目配り、気配り、判断力をもって受け入れること

###### 車での移動について

- ・食材の調達や温泉入浴での移動は行政区域内にすること
- ・夜景を見に行く等の観光等の送迎行為は道路交通法の違反になるため慎むこと

###### 緊急連絡について

- ・事故に備えて「緊急体制連絡表」を作成し、緊急対応の徹底を図っていること
- ###### 応急処置について
- ・緊急体制連絡網を目の届くところに掲示し、身につけること
  - ・救急用品は、事前に整備・補充しておくこと
  - ・かかりつけの医師や各分野の病院の電話番号を控えておくこと
  - ・応急処置は日頃から身につけること

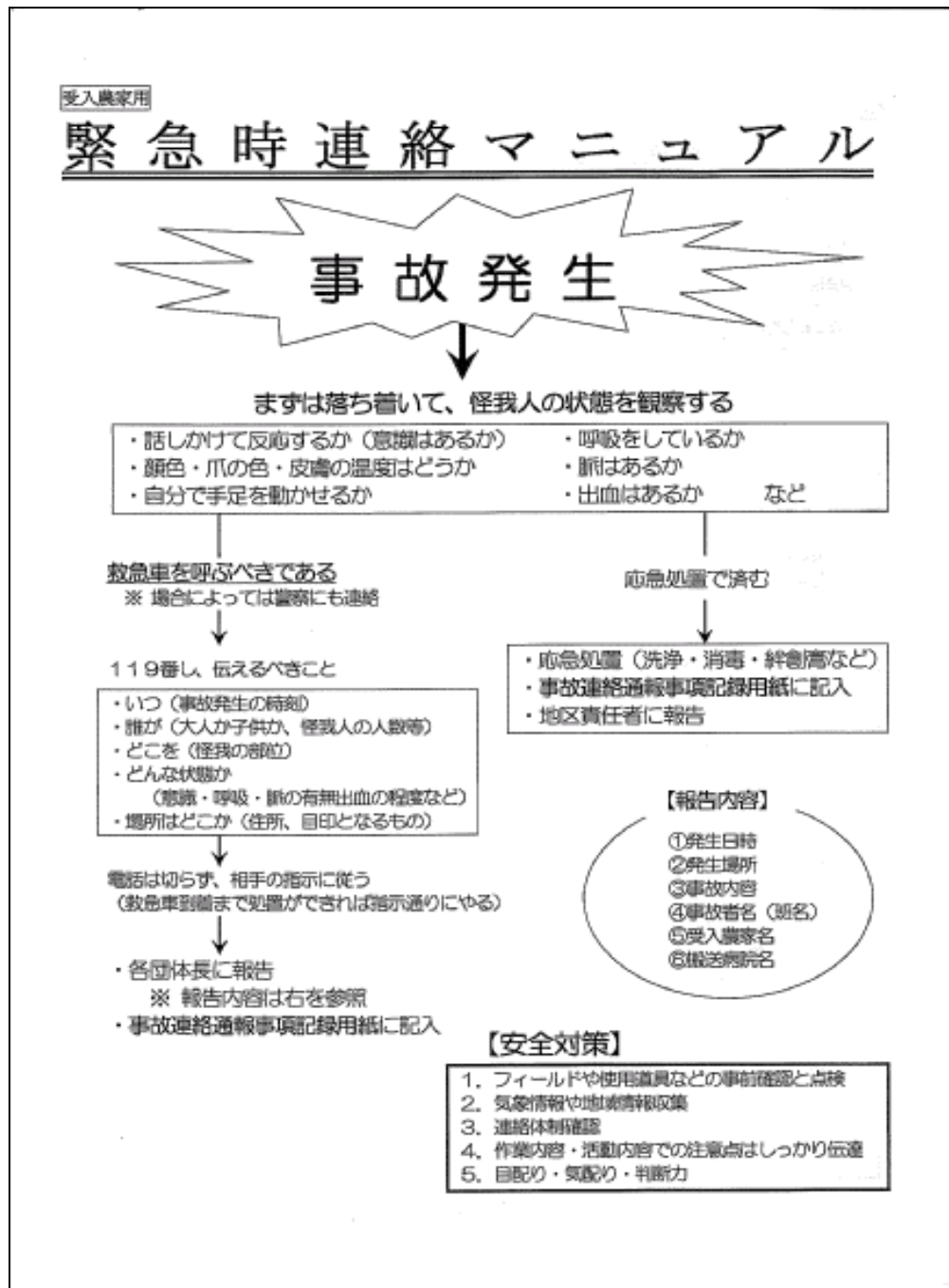
###### 損害保険の加入について

万が一のことがあるので、ファームスティ各施設の管理不備等が原因で事故が生じた際に補償する「施設所有（管理）者賠償責任保険」への加入を勧めていること

## 2) 緊急対応方法の整備

万が一、事故が起きた時は、その事故の被害状況の確認と応急処置、速やかな関係機関への連絡・報告、被害を拡大させない処置が求められます。

受入農家等が適切な緊急対応ができるように、以下の「緊急時連絡マニュアル」を配布し、その周知を図っています。また、事故時の記録を明確に残すために、「事故連絡通報事項(記録用紙)」を配布し、事故の際には記録に残すことを指示しています。



事故連絡通報事項（記録用紙）

事故発生日時	年 月 日 ( ) 時 分
事故者氏名（班）	
体験指導者氏名	
事故発生場所	
事故の内容 （具体的に）	
応急処置	
処置対応（連絡）	
その原因	
結果と事後処理	
備考	

### 3) インストラクターの人材育成

専門的に体験等を指導するインストラクターには、安全対策の技術取得させるために各種講習会への受講を勧めると共に、実際に安全管理の徹底するように心がけています。

### 4) 体験時の作業道具の事前確認

子どもたちの体験学習の中でも、体験者が作業道具を扱う場面が危険な行為であることから、インストラクターが子どもと一緒に作業道具を扱う（練習する）ことで、事故の発生を最小限に抑えるよう工夫しています。

### 5) 軽トラックの荷台による顧客輸送の原則禁止

自動車事故の防止策の一つとして、原則、軽トラックの荷台に顧客を搭乗させる輸送を認めない方針をとっています。

#### 当宿の問い合わせ先

住所	青森県弘前市百沢字東岩木山 1850-12
TEL・FAX	TEL 0172-83-2324 FAX 0172-83-2325
WEB ページ	<a href="http://lec.sato-yama.com/">http://lec.sato-yama.com/</a>

## かみの家（宮城県東松島市）

漁家民宿のネットワーク化と安全体制の確保を図る

当宿は、奥松島湾の海洋資源を活用した食事の提供と漁業体験の提供が行われている漁家民宿です。



### 1. 当宿における安全対策等の概要

#### (1) 宿泊施設等の概要

宿泊スタイル	民宿風
建築スタイル	和風建築（現代風）・木造2階建て・1棟
開業年	1971年（昭和46年）
直近の増改築	1995年（平成7年）8月、現在地に新築。
収容人数	定員40名（1部屋当たりの平均定員5名）
客室数	客室数8室（和室）
宿泊料金 （消費税込み価格）	大人1名・素泊まり：4,500円～ 大人1名・1泊朝食付き：5,500円～ 大人1名・1泊2食付き：7,800円～
雇用者数	繁忙期：常勤3名、非常勤3名 平常期：常勤3名、非常勤1名

## (2) 「施設・設備」に関する安全対策の概要

旅館業法等に基づく宿泊業者に求められる施設・設備に関する安全対策は行っています。

これまでに、施設に因んだ事故は一度もなかったですが、夜間に酒を飲んでいて高齢者の宿泊者が風呂に入り、上がってこれなくなったことがありました。当時、24時間風呂を提供していましたが、夜間まで宿泊者の様子を把握することは難しいという判断で、それ以来、24時間風呂の営業は止めました。

また、レジオネラ属菌に関して、(財)宮城県公衆衛生協会の検査を受けています(右図)。



レ  
レジオネラ属菌検査済証

## (3) 「飲食提供」に関する安全対策の概要

保健所から求められる食品衛生法に基づく衛生面の配慮は適正に行っています。

当宿で提供される料理の食材のほとんどが地元産の魚介類です。自家産以外の魚介類は隣の石巻市から仕入れています。

新鮮な食材の提供が魅力の宿だが、海が荒れている場合には漁に出られないため、魚介類を調達ができなくなる場合もあります。

そこで、当宿では大きな4台の水槽を設け、海から上がってそう日が立たない魚介類をキープし、新鮮な食材を提供する工夫をしています。



新鮮・衛生に配慮して提供された夕食

## (5) 損害保険の加入状況

施設・設備に関わる事故や食中毒等について補償する「旅館賠償責任損害保険」に加入しています。

## 2. 当宿が関わる地域ぐるみによる「安全対策」の概要

### (1) 漁村体験の受入ネットワークの取り組み

漁業をはじめとする漁村体験の提供は、2003(平成15)年に、奥松島地域の漁家民宿(12軒)、漁師、2つの施設(奥松島縄文村、観音寺)によって組織した「奥松島体験ネットワーク」によって行われています。当宿の主人小野勝見氏は会長としてその中心的な役割を担っています。

この地域ぐるみのネットワークを組織したことで、学校教育旅行等の団体旅行を対象にした漁村体験の受け入れができるようになりました。

1) 活動目的

教育体験旅行等の誘致を想定し、漁村資源を活かした交流事業の推進です。

2) 会員制の実施

当組織では、宿泊や体験を提供する者等を対象にした会員制度を実施し、年会費による運営を行っています。その運営の中で、適切な会員の支援を行うことにしています。

会員の種類

正会員	宿泊と体験を提供できる者、年会費 10,000 円
賛助会員	体験のみを提供できる者、年会費 5,000 円
特別会員	ネットワークの活動に必要と認められるもの 宿泊 1 名 1 泊当り 1,000 円

3) 団体ツアーの受入状況

2006 年度は、5 月 1 6 日～ 1 1 月 1 2 日の間に 2 7 件の団体を受け入れました。



東松島市の漁家の風景（当宿から撮影）

#### 4) 体験プログラムの提供

当ネットワークが提供している体験プログラムは、次表の通りで、26種類あります。受入から実施までの対応をこの組織のメンバー間で連携を図りながら対応しています。

当ネットワークが提供する体験プログラム

プログラム名	人数	料金	インストラクター数	実施時期	実施場所
操船体験	12名以内	1,500円	1名	通年	海上
船釣り体験	12名以内	3,000円	1名	通年	海上
磯釣り体験	2~10名	2,000円	1名	通年	海上
こだわりの船釣り体験	8名以内	16,000円、2,000円	1名	通年	海上
刺網体験	12名以内	1,000円	1名	通年	海上
かご漁体験	12名以内	1,000円	1名	通年	海上
カキ作業体験	12名以内	1,000円	1名	通年	海上
定置網漁体験	12名以内	1,000円	1名	通年	海上
海苔収穫体験	12名以内	1,000円	1名	3~6月	海上
地曳網体験	12名以内	5,000円	1名	5~9月	海上
潮干狩体験	12名以内	大人1,000円 小人500円	1名		海上
ウミネコ餌付けと 洋上遊覧体験	12名以内	1,500円	1名		海上
ロープワーク体験	制限無し	1,000円	1名	通年	
トレッキング体験	5名以上	500~1,000円	1名	通年	
農業体験	特に無し	要相談	1名	4~10月	
料理体験	12名以内	1000円+材料費	1名	通年	
お茶会体験	12名以内	1,300円	1名	通年	観音寺
坐禅体験	12名以内	1,000円	1名	通年	観音寺
和太鼓体験	12名以内	1,000円	1名	通年	
工芸体験	12名以内	1000円+材料費	1名	通年	
貝塚巡り	20名以内	入館料+無料	1名	4~11月	縄文村 歴史資料館
火おこし	10組以内	入館料+150円	1名	4~11月	
勾玉作り	15名以内	入館料+400円	1名	4~11月	
アクセサリー作り	15名以内	入館料+300円	1名	4~11月	
土器作り	10-20名	入館料+600円	1名	4~11月	
釣針作り	10名以内	入館料+500円	1名	4~11月	

船上でのロープワーク  
(小野勝見氏)



操船体験  
(免許所持者が付く)



かご漁に使うかご



## (2) “体験”に関する安全対策の概要

### 1) 指導者の条件は研修会の受講・修了

当ネットワークの体験指導者として登録するためには、「グリーン・ツーリズムインストラクター育成研修会」(主催:(財)都市農山漁村交流活性化機構)の受講・修了を条件としています。この講座では、「体験指導者の責任のあり方」、「応急処置」、「損害保険」等といった安全対策に係る講義も行っています。

この条件を設けた理由は、次の 及び である。小野氏によれば、このネットワーク以外の地域関係者にも安全対策の研修を受講させる方針です。

#### 事故対策

漁師であっても、漁業体験を人に教えることとは別次元であり、いかにして事故を防ぎ、安心して乗船してもらうためには何が必要なのか勉強する機会が不可欠です。

#### 意識の向上

お客様のことを第一に考え、これまでの民宿のような寝床さえ提供するだけの運営にならないように、今後の民宿経営の改善に役立たせるというねらいがあります。

### 2) 遊漁船における安全対策の義務

当ネットワークでは遊漁船による漁体験の提供を行っていますが、それを取り扱う者は、「遊漁船業務主任者」の資格を取得し、「遊漁船業者」としての登録を行っています。

これは遊漁船の利用者の安全確保等を目的とする「遊漁船業の適正化に関する法律」に基づいて義務付けられているものです。

この法律により、「遊漁船の利用者の生命又は身体について損害が生じ、その被害者に対してその損害の賠償を行うべき場合に備えてとるべき賠償」すなわち、損害保険の加入が各事業者には義務付けられています。



小野勝見氏が所有する漁船

3) 小型船舶でのライフジャケットの着用  
遊漁船等の小型船舶に乗船する場合、船長には乗船者のライフジャケット（小型船舶用救命胴衣）の着用を義務（一定の場合を除く）付けられています。

当ネットワークでも、乗船する体験者には事前にライフジャケットを貸出して、着用しています。

また、参加者の希望によって、長靴やカッパの貸出も行っています。



ライフジャケットの着用

4) 病院等の緊急連絡先の把握

万が一の事故に備えて、近隣の病院等の連絡先は把握し、連絡を取れるようにしています。

5) 損害保険の加入状況

当ネットワークでは、体験指導責任の補償を想定して、次の2つの損害保険に加入しています。

遊漁船を対象にした損害保険への加入

先に紹介しましたが、遊漁船業者は、利用者の生命又は身体について損害の賠償ができるように、遊漁船を対象にした損害保険の加入を義務付けられています。当ネットワークの遊漁船業者も同様の損害保険に加入しています。

体験指導者を対象にした損害保険への加入

遊漁船以外での体験指導の場合を想定した保険として、「認定グリーン・ツーリズムインストラクター賠償責任保険」（引受保険会社：東京海上日動火災保険（株））に加入しています。

当宿の問い合わせ先

住所	宮城県東松島市宮戸字月浜16-1
TEL・FAX	TEL 0225 - 88 - 4141 FAX 0225 - 88 - 2175
WEB ページ	<a href="http://www2.ocn.ne.jp/~kaminoie/">http://www2.ocn.ne.jp/~kaminoie/</a>

## 自然食泊 愛里（岐阜県郡上市）

食事・宿泊の提供は別施設 / 野外体験は専門団体に依頼

当宿は、農家レストランの面と農家民宿の面を併せ持つ複合的営業形態です。体験の提供については、宿単独でなく、明宝地区の民宿・旅館の女将さんのネットワーク「ピスタリーマーム」、アウトドアのインストラクターを主体とする団体「山と川の学校」、近隣のスキー場にある「体験センター」と提携して行われています。

### 1. 当宿における施設・設備等に関する安全対策

#### (1) 宿泊施設等の概要

飲食業の機能を持つ母屋1棟と、宿泊業の機能を持つ施設1棟とでまかっています。

宿泊スタイル	民宿風
建築スタイル	レストラン棟：和風建築（現代風） 1棟 宿泊棟：和風建築（民家風） 2棟
開業年	1982年（昭和57年）
直近の増改築	1995年（平成7年）12月、レストラン棟の新築
収容人数	定員50名（1部屋当たりの平均定員4名）
客室数	客室数12室（和室）
宿泊料金 （消費税込み価格）	大人1名・素泊まり：4,500円～ 大人1名・1泊朝食付き：4,000円～ 大人1名・1泊2食付き：6,000円～
雇用者数	繁忙期：常勤4名、非常勤4名 平常期：常勤4名、非常勤1名

本館（宿泊棟）



レストラン棟  
( 宿泊者の食事は  
この施設で提供する )



民宿 ( 宿泊棟 )



## ( 2 ) 施設・設備に関する安全対策の概要

本館新築と施設面の拡充を重ねながらの四半世紀の営業を通じ、特に大きな事故も無く今日に至っています。

### 1 ) 定期点検の外部委託

旅館業法の定める定期点検を関連業者に委託し、突発的に生じる不具合についてもすべて専門業者に依頼しています。ともすれば忘れがちな自主点検、例えば消火器などの有効期間チェックなどについては、業者から声を掛けてもらうなど、利用できる外部の専門的、定期的な確認、改善機能を最大限に利用しています。

### 2 ) 従事員の安全教育

当宿は、基本的に家族経営ですが、安全管理の意識から、日本赤十字社の救急救命教室や防火管理者講習などにも積極的に参加し、必要と思われるノウハウを取得しています。



当宿の経営者 石田夫妻

### 3) 予約時の明確な説明

身障者などの受け入れに際しては、予約の段階で、施設側としてできることとできないこととお話することで、あやふやにしないようにすることを心がけています。

### 4) 地域内の関係団体との連携

宿泊業に絡む公的機関、役場、消防署、保険所、警察署や医療機関などから、積極的に指導を受けながら、連携を保つようにしています。

#### (3) 食事に関する安全対策の概要

食事の提供に関しては、調理師免許を持つ主人の責任の下、保健所が指導する食品衛生法に基づく適正な衛生管理を行っています。

#### (4) 施設・設備に関する損害保険の加入

旅館業法にのっとり「旅館賠償責任保険」に加入しています。さらに必要と思われる火災保険や物損に対する保険にも入っています。

## 2. 屋外活動に関する安全対策

屋外体験の提供に関しては、基本的に民宿単独ではタッチしていません。溪流釣りは除くほとんどを関係団体に依頼し、事故等の対応もその依頼先の責任で行っています。

### (1) 屋外活動に関する受入体制

#### 1) 明宝民宿・旅館の女将によるネットワークによる屋外イベントの開催

当宿の石田賀代子氏がリーダーを勤める「ビスタリーマーム」(旧・明宝村の民宿・旅館の女将によるグループ)では、自主企画として、スキー場の傾斜を利用した「1 km 流しそうめん大会」を開催し、約2千名を集客しました。また、その準備に地域関係者延べ300名がボランティアとして参加しました。

#### 2) 体験専門組織との提携

屋外体験に関しては、主に自然体験のインストラクターが所属する「山と川の学校」(郡上市八幡町)に依頼しています。同団体が「体験」を担当し、ビスタリーマームが「宿泊」を担当するという分業企画も行っています。

#### 3) スキー場の交流施設での体験の提供

明宝スキー場にある「体験センター」では、クラフト体験等といった屋内体験の提供やその他体験の実施場所として貸出を行っています。

屋外活動に取り組む受入団体の活動概要

組織名	活動概要	主な活動実績
ビスタリーマーム	客層の対応等に関する研究 テーマを決めた料理メニューの開発 団体客の分宿対応 イベント企画実施等 地域滞在の季刊誌「ビスタリー通信の編集・発行(年3回、発行部数5,000部)	1 km流しそうめん大会 ・ 8月下旬開催、 ・ 参加者数2000人
		めいほう高原音楽祭 ・ 7月下旬 ・ 参加者2万人
		秋まつり(9~10月)
山と川の学校	野外体験を依頼し、宿泊と食事に関してビスタリーマームで実施する。	カヌー、雪遊び等の各種屋外体験企画。
体験センター	当施設にクラフト等などの屋内体験を依頼し、宿泊や昼食作り等の体験を引き受ける。	

### 3. “ 宿泊者・参加者 ” の安全対策の状況

#### ( 1 ) 主な受入旅行の形態

当宿では、冬季のウインタースポーツ、夏の溪流釣り、通年の飲食店としての営業の他、日本生活協同組合連合会・主催のグリーンライフツアー（グリーン・ツーリズム型ツアー）の受入をはじめ、学校教育旅行等の団体を受け入れています。

受入旅行形態	客 層
1. 個人旅行 ( 個人・グループ客 )	1 名、 若年カップル、 若年グループ、 家族連れ、 熟年夫婦、 熟年グループ
2. 企画旅行 ( 旅行会社等 )	日本生活協同組合連合会による企画旅行
3. 学習旅行	小・中学校の団体、 研修旅行

#### ( 2 ) 宿泊者・参加者に対する適切な注意

基本的な実務面での取り組みについては、宿泊者・参加者に対し、事前に書面による取り交わしで注意を喚起しているわけではないですが、経験的に注意すべきところでは、その場その場で、その都度、何度でも、口頭で注意を促すことを徹しています。

例として、冬場の降雪期に車で来館する宿泊者に、屋根からの落雪する場合があるので、注意を促しています。しかし、人はもちろん、車も軒下は危険であることを事前に注意しても、雪国での生活体験が無い人にとっては実感がわかないものなので、その都度声をかけて注意するのが最善であるとしています。

#### ( 3 ) 緊急時の連絡と専門家の指示・判断

宿泊者・参加者から病気やケガ等の身体的不調の訴えが出た場合は、直ちに該当する医療機関に電話連絡をして、指示を仰ぎ、決して素人判断の対応は行わないようにしています。必ず専門家の指示と判断を得ることを心がけています。

#### 当宿の問い合わせ先

住所	岐阜県郡上市明宝村畑佐 1008
TEL・FAX	TEL 0575 - 87 - 2400 FAX 0575 - 87 - 2152
WEB ページ	<a href="http://www5.ocn.ne.jp/~airi/">http://www5.ocn.ne.jp/~airi/</a>

平成20年3月  
編集・発行

**(財)都市農山漁村交流活性化機構**

〒103-0028 東京都中央区八重洲1-5-3不二ビル8F

TEL 03-3548-2711

FAX 03-3276-6771

URL <http://www.kouryu.or.jp>

無断転用を禁じます。